



有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I  
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: [info@chigasakieigo.com](mailto:info@chigasakieigo.com)

## はじめに

サッカーWCで力及ばず帰国した日本チームとサッカー界は、既に4年後に向けて努力を開始しています。4年後に期待して暖かく見守りたいものです。さて今回は、協力校制度発足当時から協力校として教室を続けていらっしゃる名古屋緑校と福岡中央校から、10年を振り返っての感想を寄せていただきました。

## 運命の出会い

名古屋緑校代表 久富 奈保子

茅ヶ崎方式英語会10周年おめでとうございます。

「協力校募集」という記事を当時のバイマンスリーで見つけて興奮し、震える手で電話したのがもう10年前になるんですね（その時のNEWSでは首相が村山さん！）。

私と茅ヶ崎方式の出会いは、それより少し前。勤めていた英語学校の教材でした。その頃受験した通訳ガイド試験で、勉強していった日本の文化や歴史があまり出題されず、大半が時事問題だった事で、これからは時事英語の時代だと確信し始めていた丁度その時！「これぞ私が捜していた教材」…love at first sight でした。

その後も時事英語教本やバイマンスリーを教材として使っていたものの、関東では茅ヶ崎方式の教室があることを知りずっとうらやましく思っていた矢先に見つけた「協力校募集」広告！もう、天にも昇る気持ちでした。片思いが実り、協力校を始めることになった4月には九段教室に見学に行きました。気が小さく（？）恐る恐る教室にうかがった私をやさしく迎えてくださった先生方…あのうれしさは、帰りに見た千鳥ヶ淵の桜の美しさとともに今でも鮮明に覚えています。

運命の出会いから10年。倦怠期もなく、未だ毎週届くNEWSに心躍らせています。（正直、あまりに難しいときは投げ出したくなりますが…）。時代の流れとともに英語会も変わっていくのかなと思いますが、茅ヶ崎方式の基本は流されることなく続いてほしいと願っています。

次の10年もよろしくお願いします。

## Turning Point

福岡中央校代表 蓮尾 恵子

最近、会員のお一人から嬉しい報告を受けました。

二年前にC1クラスに入会した彼女は1年後C2に進級。C1とC2のレベル差に一時はやめようかという考えも脳裏をかすめたそうですが、そこは持ち前の頑張りで克服。今年度は2度目のC2受講で、余裕も出てこられた様に見受けられます。

その彼女は別の所での英会話クラスを半年ほど休会。先日それを再開されたのですが、その間に力がついているのに、ビックリしたというのです。ネイティブ講師の説明の理解度が上がり、なおかつ、以前は原稿を用意しないとできなかった発表が、話したいことのメモを見ながら言え、おまけに使用語彙も増え、話すスピードも上がっていたそうです。

普通の教室ではリスニングが中心で、いわゆる英会話はほとんどしません。しかし、語彙力をつけ、リスニングの力を鍛え、宿題である完璧シャドウイングをきっちりこなすと、自ずと対話する力はつく、というまさに茅ヶ崎方式の真髄を表すような、彼女の体験に私も大変嬉しく、また彼女の熱心さにあらためて感心致しました。

翻って、教室を主宰している私自身の勉強や如何に？

10年前、福岡西校としてスタートした頃には、自分が勉強したくて始めましたので、旧基礎編に書かれている通り、ノートに例文を写し、訳を書いて自己チェックというところからきちんと勉強しました。しかし、福岡中央校を開いてからは、精神的にも時間的にも運営に拘束されることが多く、高校の非常勤講師もしていましたので、自身の勉強が思うにまかせない日々もあり、何の為にやっているのか、やめた方がもっと勉強できるのでは、と思ったことも何度かあります。

それでも「継続は力なり」で、茅ヶ崎の傍ら、サークルをつくって時事問題の **discussion** を続け（8年目に）、4年前からは誘われて **TIME** の勉強会（友人達と月2回、更に福岡中央校に同じ講師を招いて月2回）も、青息吐息でこなしている内に、英語そのものの勉強と並行して、英語で何かを勉強することも始めたくなりました。これが今後の楽しみです。

「茅ヶ崎方式」との出会いがあったればこそ！の私の人生展開だと、感慨深いものがあります。

## ☒ おたよりコーナー ☒

### プリンストンだより

元九段校講師 内藤やす子

去年の9月から主人の仕事の関係で米国のニュージャージー州にあるプリンストンという大学町に一年間の予定で滞在しています。プリンストンはニューヨークから電車で一時間あまりのところであり、多くのニューヨーカーも住み、小さな町ながら文化水準は高く、大学町ということで、留学生も多い国際的な町でもあります。

そんなプリンストン大学のキャンパスを歩いているとまず気付くことは、中国人の多さです。大学当局に聞いてみますと、大学院生約2000人の内、中国人留学生が200人以上を占める一方で、インド人が74人、韓国人24人、そして日本人はたったの11人ということでした。外国語の講座においても、かつては日本語講座を取る学生が最も多かったのが、いまや中国語にその座を奪われ、日本語講座は目下、氷河期ということでした。外国語というのは、その国の経済の勢いが如実に反映される分野で、アメリカの学生のアジア地域への関心も中国に集中しています。また、新聞を読んでも中国関係の記事がほぼ毎日のように載り、一般のアメリカ国民の中国への関心の強さがうかがわれます。

中国人留学生に接すると、ほぼ一様に向学意欲に燃え、英語も堪能です。どのような英語教育を受けてきたのかを尋ねても、**reading** が中心であり **speaking** する機会はないと、全く日本人と同じような返答が返ってくるので考え込んでしまいます。自己主張を積極的に行うアメリカの風土が肌に合うのか、水を得た魚のような中国人の態度を見るにつけ、これからの国際人を目指す若い日本人にも奮起してもらいたいものだと痛感しております。

2005年1月に茅ヶ崎方式サンディエゴ校を始めてもう少しで1年半になろうとしています。人数的には大体4～5名で推移しており、ビジネスという観点からは趣味の範囲を超えていません。主な対象が日本からの駐在員とその家族という点が一つのネックとなっており、日本への帰国などからなかなか定着しないのが現状です。一方で、受講して頂いた方々からは大変好評を得ており、少しずつでも裾野を広げて行きたいと考えています。

さて、今年のサンディエゴに関わる大きな話題は、何と言っても王監督率いる日本チームのWBC優勝です。特に日本と韓国の因縁の対決とも言える準決勝、キューバとの決勝は、あの広いペトコ・スタジアムが満員となり、サンディエゴでも大きな話題となりました。とにかく奇跡とも言える形で日本が戦線に復帰し優勝までこぎ着けたのは、勝利への執念としか言いようがありません。王監督、イチロー選手、松坂投手、選手の皆さんに心から「おめでとう」と言いたいと思います。野球シーズン開幕直前で大リーグの主要選手が参加しにくい点、審判の質など、今後改善を要する点が多くあると思いますが、WBCが益々発展することを期待しています。

ブッシュ政権2期目の米国では、長引くイラク戦争、これに伴う大幅な財政赤字、国民総借金体制、不動産バブル、貿易赤字、忍び寄るインフレ、など多くの問題を抱えています。米国政府は、クリントン政権で廃止した30年国債を復活させ、膨大な借金を将来の世代に振り分けようとしています。また1929年の大恐慌以来、初めて米国民の貯蓄率がマイナスに転じた(収入より支出が大きい)と言うことは、日本では考えられないことだと思います。住宅価格の上昇も一段落し、サンディエゴ地域では今年になってForeclosure(支払い不履行による家の没収)が増えてきています。

一方明るい話題では、失業率が4.7%で事実上完全雇用に近い状態にあり、このためConsumer Confidenceは全体として高い数値を示しています。もちろんBig3を抱えるデトロイトなど自動車業界を除いての話ですが。また日本を始めアジア、ヨーロッパの景気回復基調は、米国にもよい結果をもたらすと考えられています。いずれにしても、世界中の人々が平和で心豊かな暮らしが出来るように、一人一人が努力して行く必要があると思います。(2006年4月)

## 協力校紹介 第32回

### 《岡山城南校》

岡山県岡山市新福

代表 田原 尚子

岡山城南校は、こどもから大人、特に通訳者養成を行っているスクールでもあります。当校では、クラス2とクラス3を導入しており、もちろん時事英語クラスとしての独立した茅ヶ崎クラスを開講していますが、通訳者養成コースにもこの茅ヶ崎を訓練教材のひとつとして使用しております。日本語と英語のインプットとアウトプットを同等の質に引き上げることを要する通訳の訓練には、非常に有効な教材だと思います。

茅ヶ崎クラスでは、60分のレッスンで単語と1ニュースの英日、日英訳を確認し、そのニュースについて各自の意見を英語で述べ、ディスカッションを行う、という流れで行っています。受講生の一人一人は、驚くほど勉強熱心で、スタート当初とは比にならない力を身につけていくのを日々感じています。

一人の日本人として、社会人としての見識を広げながら、英語に磨きをかけていくことができる茅ヶ崎は、本当に素晴らしい教材であると感謝しています。

それから、当校では、小学低学年で既に英検2級、準1級をチャレンジ又はすでに取得している子どもたちがいます。その子たちにも、茅ヶ崎のクラス2と3を、ニュース内容をわかりやすく日本語で解説しながら、難しい英単語を覚えさせ、ディクテーションなどを行い、準1級レベルのリーディング内容についていけるよう指導もしています。

今後は、さらに茅ヶ崎の輪を広げ、質の高い英語を身につけるサポートを、私自身精一杯していきたいと願っています。

## 📖 学習者の声 📖

岡山城南校 C3会員 高島 雪絵

私が茅ヶ崎コースで勉強を始めて1年3ヶ月が過ぎました。同時期に某大手英会話教室に通っていたのですが、高いローンを組まされるわりに内容も講師陣もレベルが低く、ほかにいいところはないか？と探したのが岡山城南校と出会うきっかけでした。

良心的な料金設定（しかも月謝制！）や融通ききまくりの講義振替制度にも驚きましたが、なにより講義内容と講師のレベルの高さに感動しました。十数万ローンを組んで通ったあの日々はなんだったのか？

茅ヶ崎コースでは時事英語を題材におもにリスニングと翻訳の勉強をしています。専門用語も多く、もともとリスニングが苦手な私は聞き取りに悪戦苦闘してしまいましたが、苦手分野強化と同時に時事的な語彙を習うことができ、それが少しずつながら自信につながっています。茅ヶ崎方式で勉強していなければ、**Class-A war criminals**なんてことば、一生知らずに過ごしたのではないのでしょうか？一つひとつはどれも知っている単語なのに・・・。英語の奥深さも教えていただけた気がします。

そして茅ヶ崎で勉強して得たいちばんの財産は尚子先生とクラスメートに出会えたことです。独学では絶対に得られなかった最高の講師と同じ目標を持った仲間と過ごす時間は何ものにも代えられません。みんなで「難しー」とか「分から〜ん」と言いながらも切磋琢磨していくことで私の英語力も徐々にUPしていつている気がします。

いろいろなことを教え与えてくれた茅ヶ崎方式！私のスキルはまだまだ発展途上ですが、がんばりますのでこれからもよろしくお祈りします！

あとがき：ドイツまでサッカー観戦に行かれた方、夏休みに旅行の計画のある方、滞在記や旅行記などお便りを是非お送りください。お待ちしております。